

## 寄贈品コーナー 平塚空襲展

2009年6月13日（土）～7月30日（木）

昭和20年（1945）7月16日はB29約130機による平塚空襲がおこなわれた日です。この空襲では390名以上の方が犠牲になりました。

博物館では「平塚の空襲と戦災を記録する会」において平塚空襲に関する証言や資料を収集しています。しかし、年々、空襲の証言をとることが難しくなり、市民の間でも空襲を知らない方も多く見受けられます。そこで、博物館では毎年7月16日の前後の期間に平塚空襲に関する資料を集めた展示をおこなっています。

今年は、空襲の体験を後世に視覚的に残そうと、体験者の方を対象に空襲の体験を描いた絵を募集しており、今回の空襲展ではその絵を紹介します。空襲体験画の募集は今年12月までおこない、お寄せいただいた絵は博物館の資料として保存するとともに、来年度開催される夏期特別展「市民が探る平塚空襲（仮称）」で展示する予定です。



▲ 江藤巖「惨めな避難」

油脂焼夷弾で重傷を負った姉を父が背負い、同じく重傷の弟を兄が背負い、母がヤカンいっぱいの水を持って海岸へ避難した。燃える家の炎で行く手をふさがれ、近くの家の庭先を抜けていった。（須賀 第二国民学校（港小学校）前）